



IDB

最後の一枚は「沖縄開催決定までの道のり」です。「なぜ沖縄で開催されるのか」「IDB総会の受入れ準備はどのようになっているのか」「沖縄で開催される意義は？」これらの答えはポスターに書いてあります。ポスターは九月二十一日～十月四日まで沖縄総合事務局の掲示板にも貼ってありますので、ご覧ください。

第二合同庁舎でのパネル展の他に、なはまつりや全島エイサリ祭り等の沖縄各地で行われているお祭りのブースでもIDBパネル展を開催予定です。そちらにもどうぞお越しください。



高校生による発表の様子



一般公開セミナーの様子



講演する比嘉リカルド氏

## 高校生セミナー・ 一般公開セミナーを開催

七月には沖縄コンベンションセンターと県庁において、IDB沖縄総会関連のセミナーが二つ開催されました。一つは高校生を対象にしたセミナーで、もう一つは県民を対象とした公開セミナーです。

高校生対象のセミナーは七月十四日に行われ、スペイン語や国際協力を学ぶ県内八高校から約二百名の生徒が参加しました。セミナーは、小瀬IDB前理事自身の体験による基調講演から始まり、次に、昨年八月に行われたブラジル・アルゼンチン沖縄県人移住九十五周年スタディツアーに参加した高校生の報告と、県系二世の母の出身地ブラジルで二年間を過ごした高校生の体験談が発表されました。

最後に、琉球FC所属のブラジル出身県系三世のサッカー選手である比嘉リカルド氏が、来日当時の話をしてセミナーが締めくくられました。

七月十七日には、「ラテンアメリカ・カリブ海諸国へのアジアの移民による貢献」と題した一般公開セミナーが開かれました。ここで、アジアからラテンアメリカに移住した人々が、移住先で、農業、医療、芸術等の分野にどのような影響を与えたか、どのような役割を果たしてきたかについて、各方面で活躍されている方々が講演しました。また、ヒスパニック文化センターのモラレスセンター長が、逆にラテンアメリカ人の沖縄への貢献にはどのようなものがあるかについて、語りました。

これらの講演や異文化体験発表を通して、地球の反対側にある中南米・カリブ海諸国と日本、沖縄との結びつきを学びました。



## IDB-IIC ANNUAL MEETING OF THE BOARDS OF GOVERNORS OKINAWA 2005



九月十三日から十月一日まで那覇第二地方合同庁舎の行政プラザにおいてIDB紹介パネル展を開催中です。

IDB紹介のポスターの他、在日中南米・カリブ海諸国の大使館から提供していただいた各国に関するポスターやパンフレットも展示しています。日本のほぼ裏側にあたるこれらの国々がどんなところか想像もつかないという方も多いのではないのでしょうか。これら展示等を通して、皆さんに中南米・カリブ海諸国を知っていただけると幸いです。

パネル展で展示されているポスターの中からIDB総会に関するポスターを紹介します。ポスターは合計で四枚あります。八月から二週間毎に沖縄総合事務局とふそびの掲示板にも掲示されていますが、皆様御覧頂けましたでしょうか。

まず、「米州開発銀行(IDB)」について知ろう！ではIDBの紹介を行っています。IDBとは一体何をしているところなのか、どんな国が加盟しているかが説明されています。

次に、「IDBについてもっと知ろう(上級編)」では、IDBが行っている事業等について写真入りで説明しています。

『第四十六回IDB沖縄年次総会について知ろう！』では、IDB年次総会とはどんな会議で誰が参加するのか、次の開催地はどこなのか書かれています。皆さんも御存知のとおり、次の開催地は沖縄で、来年の四月に沖縄コンベンションセンター等で開催されます。

# IDB紹介パネル展開催中